会 議 録

会議の名称	平成20年度 第5回地域協議会
開催日時	平成21年3月18日 午後6時から
開催場所	日新館「市民ホール」
出席者氏名	<p>委員（22名）</p> <p>会長 鈴木清、副会長 武内詔子、秋山哲朗、佐藤政一、茂木好文、土田龍太郎、赤川祐一、佐藤永吉、三浦良明、小番功、小沼文夫、佐藤伸一、土田典子、相庭幸子、佐藤健美、三浦秀人、佐藤寿美子、八坂美智子、小番けい子、佐藤嘉孝、沼倉睦子、東海林晃</p> <p>矢島総合支所（10名）</p> <p>総合支所長 佐藤正敏、振興課長 植田太一、市民課長 細谷正幸、福祉保健課長 伊東幹雄、産業課長 伊豆葵、建設課長 小番直義、教育学習課長 熊谷勲、水道事務所長 菅原賢一</p> <p>（事務局） 振興課 滝野由紀夫、振興課 佐々木有希子</p>
欠席者氏名	<p>佐藤久美、相庭直一、三浦省、佐藤健美、近藤正満、打矢正敏</p> <p>佐藤孝義、東海林久美子 以上9名</p>
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 総合支所長あいさつ</p> <p>4. 協議</p> <p>意見書にかかる回答について（報告）</p> <p>地域活性化・生活対策臨時交付金実施計画について</p> <p>定住自立圏構想の概要について</p> <p>平成21年度 矢島地域主要事業について</p> <p>地域協議会の運営について</p> <p>5. その他</p> <p>6. 閉会</p>
会議の経過	別紙のとおり

平成20年度 第5回地域協議会

開 会

振興課長

皆さんお疲れのところお集まりいただきましてありがとうございました。ただ今から平成20年度第5回目の地域協議会を開催します。最初に会長より挨拶をお願いします。

鈴木会長

お疲れのところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。今回、20年度第5回目の地域協議会でございます。そして私たちの任期が4年という事でございますので最後の会議になります。皆さんには長い間ご苦勞をおかけしまして厚く御礼申し上げます。大変頼りない会長でありましたが皆さんのご協力をいただきました事を重ねて感謝申し上げます。前回皆さんに地域からの市議会議員の出席を要請するとの約束をしましたが、幹事会において検討した結果、今回は出席要請しないとなりましたので御了承願います。今回が最後の地域協議会にはなりますが先般の会長会議でも話がありましたが私たちがいただいている委嘱状は7月1日付けでありましたので条例的には6月30日までの任期となるようです。新体制での協議会は7月以降となりますがそれまでの間会議は開催しませんが委員としての任期があるようです。

(以下中高連携校竣工式及び学校開放についての感想)

本日は協議案件が盛りだくさんですがよろしく願いしまして挨拶とします。

総合支所長

第5回目の協議会にご出席くださりましてありがとうございます。ただ今会長からもお話ありましたが、20年度最後の協議会でございます。17年度の合併後4年間にわたり矢島地域のみならず市全体の各種政策や事業の推進に皆様から貴重なご意見やご提言をいただき感謝申し上げます。

このあと説明いたしますが、地域協議会自体は21年度以降も存続になりますが、どのような形での存続になるかを事務局からご説明いたします。私の方からは資料の3ページの資料について概略をご説明いたします。

(以下現段階での主な事業について資料に基づき説明)

今日はいろいろと協議お願いする事ありますけれども、最後の協議会ではありますがよろしく願いしたいとおもいます。

振興課長

それではさっそく協議に入りますが、本日佐々木理事は大内の協議会と重なりましてそちらの方に行かなければいけないということで欠席しております。また委員の方々4名からは欠席の連絡いただいておりますが、その他あわせて9名の委員が欠席しております。それでは進行の方は会長よろしくをお願いします。

鈴木会長

それでははじめに「意見書にかかる回答について(報告)」について事務局の方から説明をお願いします。

事務局

それでは私ほうから12月5日付けで市のほうに提出しておりましたが、12月26日付けで回答ありました。皆様の手元にありますが朗読して報告させていただきたいと思います。

(意見書にかかる回答を朗読)

以上2点について報告いたします。

鈴木会長

意見書についてはその文言について何度も協議いただいておりますが最終的にまとまったものを市に提出しこのような回答を得ておりますが、これにつきまして皆さんからご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

A委員

鳥海山ろく線沿線に通勤の対象となる市職員が80人いると聞いておりますが、現在利用している職員は30名と半分にも満たない状況ですのでいろいろな事情があることと思いますがもっと働きかけをしていただきたい。また、市民課長にお伺ひしますが直接は関係ありませんが広域消防署員は公共交通機関を利用した場合、最寄の箇所からであれば全額が支給なると聞いた事がありますがその辺の状況がどうなっているかわかりませんか？

市民課長

通勤方法は広域消防そのものがなくなっておりますので役所の職員と同じ通勤形態です。

A委員

もし間違っていれば誤解を招くわけでありませうけれども、消防署員と同じように役所の職員に対しても同じように優遇策を検討し利便性を高めるべきでないかなと思っておりますので一度確認してもらえないでしょうか。

市民課長

通勤手当についてはバス、列車については実費、自家用車に関してはその距離に応じて支給されております。ですから利便性云々というよりも通勤については確実にその利用形態によって支給されております。

A委員

であればなおさら通勤での利用をお願いしたいということです。

鈴木会長

どうゆう理由が分かりませんが対象者の半数以上の方が利用していない状況にありますのでなんとかよろしくお願ひしたいと思ひます。

総合支所長

できるだけ利用していただくようお願ひはしているが、職員個々に事情を抱えているものと思われる。例えば子供が保育園児なり学生で送り迎えがあつたりといろいろなケースがあるものですから強制的というわけにもいかず、公共交通機関の利用をお願ひしても実態として利用できないケースがあるというのが実態であります。出来るだけ機会をみつけお願ひしたいと思ひますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

鈴木会長

他にございませんか。なければ次に進めさせていただきますが、鳥海山ろく線で明日から釣りキチ三平列車が運行されます。その前にひな祭記念切符、乗車券が発売されますので皆さんからもご購入いただいて山ろく線にご協力いただければと思います。次に地域活性化・生活対策臨時交付金実施計画について事務局の方から説明をお願いします。

振興課長

関連ありますので、次の「定住自立圏構想の概要について」も併せて説明いたします。地域活性化・生活対策臨時交付金実施計画についてでございますが、皆さんもご存知のとおり現在100年に1度あるかないかの大不況といわれております。これを乗り切るべく国の経済対策で平成20年度の補正で景気を回復させるべく追加された事業でございます。地域活性化・生活対策臨時交付金でございますが通常分として由利本荘市に10億4700万ほど、それから定住自立圏構想の関係が1億7400万ほどで合わせて12億2200万ほどが交付されるわけでありまして。市ではこれを受けまして資料のとおり14億4400万ほどの計画を組んでおります。矢島総合支所においてもそれぞれの担当で要望をいたしておりました。その結果、通常分の10億4700万のうち矢島分としてもそれぞれの担当で要望を出しておりますがその結果2億6400万ほど約4分の1程が矢島分として認められまして大変喜んでいただいております。一覧表により説明いたします。

(以下一覧より)

- ・福祉会館改修事業 17,000千円
- ・寿康苑設備改修事業 1,000千円(主として会館修繕)
- ・矢島保健センター改修事業 13,000千円(屋根・外壁・内部冷房等の改修)
- ・やさい王国屋根及び外壁修繕事業 1,000千円
- ・矢島畜産センター改修事業 2,500千円(屋根と外壁の一部を改修)
- ・ミルジー屋根改修事業 500千円。
- ・花立コテージトイレ修繕事業 4,500千円
- ・ユースプラトー修繕事業 5,900千円(暖房器具と玄関ドアの改修)
- ・市営住宅改修事業 25,041千円(うち600万円で小田住宅屋根改修)
- ・市道維持補修事業費 150,300千円(矢島分として3箇所20,000千円)
 - 新荘線の水路の改修 4,000千円
 - 停車場線の舗装補修 8,000千円(JAスタンドから国道まで)
 - 東中央線の部分舗装補修 8,000千円(Aコープ前から旧営林署前まで)
- ・矢島中学校解体事業 150,000千円
- ・矢島小学校特別教室移設事業 3,400千円
- ・矢島小学校八森会館風害校舎解体事業 20,000千円
- ・日新館屋上防水改修事業 20,000千円

次に定住自立圏構想でございますが、A3版の資料2-1をご覧ください。由利本荘市が国に対しこの事業に取り組むたいと手を上げ認められましたので計画を組んで実施していく事となっております。目指すまちづくりでございますが『山・川・海の豊かな自然と調和した健康で快適な地域社会「住んで良かった」「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまちづくり』を目指していくとゆうことでございます。次に確立のための取り組みでございますが

充実した高度情報通信基盤(CATV)の活用により、医療、福祉、教育ネットづくり

農水産物流通ネットワークの確立で、海の幸・山の幸を相互交流の推進

道路ネットワークの整備で、市域が短時間で結ばれる

行政バスの広域運行等公共交通手段の確保により、だれにも優しく住みよいまちへ

ということで住み続けたいと思える「一体感のあるまちづくり」を目指して構想を推進するものであります。それで一番後の事項 に対して取り組んでいただきたいとの事でそのひとつが資料2-

1の一番上についております「医療サービス受益者の地域格差解消のための受信端末器の設置」であります。これは現在由利高原鉄道が矢島駅と前郷駅でFAXにより試験的に実施しておりますが、それを全市に広めて本荘地域内の規模の大きな病院での待ち時間の解消等、利便性を図るために計上されました。2つ目でありますが7番目の『統合家畜市場を「秋田由利牛の郷」として整備であります。酪農の振興を図り、農産物の地産地消体制の構築』の推進を図るとの事で計上しております。もうひとつは、13番目の『圏域の公共交通の維持と充実のための地域公共交通ビジョンの策定や新たな交通手段の創出』ということで計上しております。現在由利本荘市の本荘地域の中心部において循環バスがございます。また、鳥海、岩谷においても路線バスの廃線によりバスを運行しておりますが、矢島地域も含め各地域においても路線バスの廃止路線がありますので、それらの利便性を確保できるような交通体系を市として計画を策定し取り組みたいとのことで計上しております。資料の事業費を合計しますと2,790,000千円となりますがこれだけですべての事項が実現できるというわけではありませんで、これから精査しながら5年ほどかけて住み良い街づくりを推進する事になっております。

鈴木会長

ありがとうございました。まとめてご説明いただきましたが何かお気づきの点ございましたら発言願います。

保健センターの改修事業についてですが、全館冷房なるのでしょうか？

福祉保健課長

この改修につきましては屋根の葺き替えや外壁改修等を予定しております。エアコンにつきましては、子供たちが検診時に汗をかかない程度に対応したいと思います。

B委員

今回の経済対策等で今まで財政的に厳しく出来なかった部分に対応していただけるとの事で喜ばしい事とは思いますが、たまたま国の施策によって出来るのであって、先日会議でこの会場に来たさい雨漏りしていてバケツを置いて対応しているような状況であったが緊急を要する事項にあっては財政的に厳しくとも対応するべきだと思う。

教育学習課長

B委員がおっしゃられたとおり、ここ数日雨やみぞれがつづきステージのピアノを置いてるところと事務室脇の応接間に雨漏りがありまして当初予算で要求しましたが認められませんでした。それと矢島中学校の解体工事については1億5000万円の要求に対し当初5000万円の予算しかつきませんでした。両件とも今回の2次補正で対応していただける事にはなりましたので早期に着工したいと思いますのでよろしくをお願いします。

鈴木会長

日新館の改修については年度早々にとりかかる予定はありますか？

教育学習課長

現在、設計の準備段階にありますので設計が組まれ次第早期に発注予定です。

B委員

高校の解体により格技場使用時のトイレがなくなるがその対応はどうなっているのか？

教育学習課長

その件については以前より要望ございましたが、格技場はまだ市の所有になっていない事から当初予算での要求はしておりません。等価交換により市の所有となれば補正で対応する事で本庁と協議済みです。営繕の方で仮設トイレとの話もありましたがそれよりはちゃんとしたものをとのことで希望を出しております。

B 委員

市のものになればスポ少等で使用する事となるものと思われまますのでよろしく申し上げます。

教育学習課長

ただ4月早々に市に移管なるということではありません。校舎が完全に解体なり更地になった段階で移管なりますので6月前後と思われまます。それまでは使用する事ができません。

鈴木会長

それでは次に進みます。「平成21年度矢島地域主要事業について」を事務局より説明申し上げます。

各所管課長

(平成21年度 矢島地域主要事業について各所管課長が資料に基づいて説明)

- ・ 振興課長
- ・ 市民課長
- ・ 福祉保健課長
- ・ 産業課長
- ・ 建設課長
- ・ 教育学習課長
- ・ 水道事務所長

鈴木会長

ありがとうございました。各所管課長より説明いただきましたが何か意見ありますでしょうか。

C 委員

建設課事業にあります前杉豊町線とはどこの事ですか。

建設課長

前杉のスノーシート脇の交差点から豊町交差点までとなっております。そのうち今回は天寿酒造前から柴田商店前までの区間の改修を予定しております。流雪溝及びマンホールの段差を解消するものです。

D 委員

福祉保健課の生活支援等事業の中で65歳以上単身者及び70歳以上高齢者世帯に緊急通報システムとありますが安心電話の事ですか。

A 委員

定住自立圏構想に「ケーブルテレビを活用した緊急通報システムの構築」とありますがそれとは

別なのですか。

振興課長

ケーブルテレビとはまた別です。安心電話についてシステムが地域によって異なり統一されていない状況にあります。ある地域では通報が警備保障会社に、ある地域では社会福祉協議会や消防署にとまちまちでありますので、統一を図るため定住自立圏構想により検討したいという事です。

A 委員

一貫性をとって、ケーブルテレビに加入していない人は一般電話で推進していく等の方針を明確にするべきではないか。

振興課長

ご指摘のとおり整合を図る必要はあると思います

A 委員

今後の方針について支所で進めていける事項なのですか？

振興課長

現在の通報システムについては長寿支援課の所管となります。ケーブルテレビとの兼ね合いも情報政策課と連携をとりながら進めていく事になっております。

A 委員

定住自立圏構想について資料 2 - 1 の No . 1 に「医療サービス受益者の地域格差解消のため受信端末機器の設置」ということで市内の各総合支所等及び駅等に第 2 次医療圏の中核的な病院との受信端末機の設置とあります。駅で受付し鉄道を利用して、結果待ち時間が短縮となるというのは分かりますが、総合支所で受付し短縮になるというのはどうゆうことなのか？

福祉保健課長

これはあくまでも地域格差解消のための構想でありまして、地域に 1 台受付端末があれば待ち時間の短縮に繋がるだろうという発想からのものであり、支所、JA、駅等その設置場所については地域によって異なると思います。先日新聞報道で取り上げられましたが、現段階ではあくまでも構想であり実施について確定しておりません。専用端末設置となると故障があったり、また費用もかかるということで現実的には不可能に近いとの意見がありまして代替案としてファックスなら出来るのではないかと案もありますが具体的な方法を示せる段階ではありません。

A 委員

以前から組合病院の運営協議会において待ち時間を解消できる方法がないか話し合われているが、今回の由利高原鉄道と第一病院との連携はすばらしいと思っております。ある方から第一病院以外でもとの声がありますのですべての病院は無理としても組合病院や佐藤病院等の総合病院について前向きに検討していただきたい。

福祉保健課長

資料にあります中核的な病院とはまさに今言われました、組合、第一、佐藤病院を指しておりまして実現に向け検討している段階です。設置場所については地域内のより良い場所に設置したいと考えております。ただ、懸念している事としてファックスとなると受信量が相当数になると思われ

ますので受ける病院でも大変でしょうし、また各地域で受付し病院に行った際、直接受け付けした方と順番の件でトラブルにならないかと懸念しております。

鈴木会長

何かありませんか。なければ「平成21年度の主要事業について」は終了しますがよろしいですか。それでは次に移ります。「地域協議会の運営について」でございます。資料に自治区の設置に関する条例がございます。先般9月に行われました地域協議会長会議の中で地域の協議会の現状という事で各地域から話が出ました。話題になったのがやはり出席率で、出席数が半分ないしは半分いかない委員もいるとのことでした。地域行議会は委員60人以内と条例で定めがありますが現在本荘が50人、他の地域は30人という事であります。また、第6条に任期は4年とありますがこの点についても長すぎるという意見がありましたし私自身も同じ思いです。30名という人数が妥当か、期間は4年でいいのかどうかを併せて各地域の意見を次回の会長会議まで伺いたいとの事でした。地域の要望がまとまれば全体の意見を汲み取り条例を改正したいとのことでしたので皆さんの意見をお伺いいたします。

A委員

会長は4年では長いと言われますが仮に2年にしたとすればやっと慣れてきたころに任期を迎えてしまうと思う。立場や経験によっても違って来るがある程度理解して発言や提言するには時間も要するだろうし2年となれば短すぎると思う。せっかく4年の任期なのであればそれでいいのではないか。ただ、団体等の代表として委員になられている方については当然職に付いたものでありますのでその役職が変われば後任に引継がれるものだと思いますし今までのように任期が4年だからといってそれに固執するべきではないと思う。それぞれの時にその立場の人を更新していくとすれば4年で問題ないのではないか。人数については地域によって実情によって異なる。隣の鳥海のように3地区からの代表となれば30名で足りないだろうし、ここ矢島の場合であれば昔からの地域でありますのでそれに見合った人員を選出したらこれくらいだったということでもいいと思う。

B委員

A委員に真っ向から反論する訳でないが、委員の構成をみると今までそれぞれの立場である程度の経験をしている方々と思われるのでそう捉えれば2年でいいと思う。4年となると緊張感がなくなり出席率も低下してくるだろうし2年であれば張り合いが出てくると思う。また、条例において「会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開く事ができない」とあるが、当地域においても数回半数に満たない事もあったように記憶している。それでも他の地域と比較して出席率は良いほうだとは聞いているもののやはり条例にもあるとおり半数以上の出席がないと会議は成り立たない。あくまでもA委員のように4年でいいという意見と、私のように4年では長すぎるという2つの意見があるという事でその事を会長会議で報告するしかないと思う。

鈴木会長

おっしゃるとおりここでどちらかをと決めるような事でないと思います。

A委員

会議の進め方として、相反する意見があったとき会長会議において「矢島では条例どおり4年でいいという意見と、半分の2年でいいという両方の意見がありました」と発言するのですか？やはり両方出たとすれば皆さんに多数決とまではいかなくともおおよそどうなのかという位までは意見を集約しないとまずいのではないか。大変失礼ですがそうゆう会議の進め方だからいつの会議でも出席者がその集約ないところに物足りなさを感じているように思われる。前回の議事録で拝見し

ましたがG委員の発言のとおり集約された意見が反映されていくような会議であれば会議も活発化すると思うが、意見の集約もせず煮詰らないまま、ただ先に進むような会議の進め方はまずいのではないか。

鈴木会長

A委員からご指摘いただきましたので、会長会議においては皆様からの意見の割合を報告したいと思しますので、条例どおり4年が妥当だという意見と、4年では長すぎるという2つの意見を挙手により集約したいと思いますがいかがでしょうか。

E委員

因みに条例というのは誰が最終的に決めるのですか？

鈴木会長

市議会になります。

E委員

会長会議の意見として要望するのですか。

鈴木会長

全体として4年では長すぎるとの意見であれば何年になるか分かりませんが意見を集約し要望する事になると思います。

F委員

この条例は第1条に基づいて各条文が作成されたものと思われませんが、これを勝手に変えてもいいのですか。

B委員

人数だとか任期に関しては当然条例ですので議会にかかりますが、我々の意見を集約するのは会長会議でありそこで要望するにあたり地域の意見を参考としたいとの事ですので、矢島で今までどおり4年いいと決定したからといってそれが即決定なるということではない。各地域からの意見を会長会議で集約しそれを要望する事となると思う、それに対し執行部で意見を尊重し検討する事になると思う。

A委員

条例は議決事項ですから最終的には議会が決定する事になります。ここで決定したから即変わるということではない。

鈴木会長

それでは皆さん挙手をお願いしたいと思います。今までどおり条例どおりに4年でいいと思う方挙手をお願いします。(挙手7名)。4年では長いので2年で良いと思う方の挙手をお願いします。(挙手14名)。3分の1の方が今までどおりの4年、そして3分の2の方が4年では長いとの報告をさせていただきます。次に人数についてですが、先ほどA委員より地域によって異なるのではないかと意見がありましたが現在矢島地域は30名であります。それがそれ適当かどうかご意見を伺いたいと思います。

E 委員

最終的な選考は総合支所の判断であって、30人という人数にこだわる必要はないのではないかと。

B 委員

30人にこだわる必要はないが30人でどうですかと聞いているのです。

総合支所長

条例では60人以内となっており、はっきり確認は取れておりませんが、合併前の各市町の人口で判断しているものと思われます。仮に本荘が60名だとすればほかの町では30名くらいが適当ではないかということです。協議の結果必ずしも30人でなくともよろしいかと思われます。詳細については担当からお願いします。

事務局

総合支所長の説明のとおり由利本荘市統一した形で60人以内と条例で定められております。ですが旧町においては人口の割合から30人としており、学識経験、地域の代表、団体の代表の各分野から総合支所でピックアップし委嘱しているところであります。皆様にはこの4年間委員をされたなかで、矢島地域において30人という人数が妥当かどうか意見を出していただき、その意見を次回の委員選考の参考としたいと考えておりますのでよろしくおねがいします。

F 委員

4年前の委員選考段階で委嘱を辞退された方はおりますか。

事務局

辞退された方はおりません。

G 委員

人数や任期よりも一番大事なことは決められた人数なり任期の中で集中して取り組めれば多いだの長いだのとは感じないと思う。出席率が低い方は諸事情があるにしても会に対する感心が欠けつつあるのだと思うし委員としての自覚があるのかも疑問である。この会に限らず委員を引き受けた以上、目的を遂行するために頑張らなければいけないと思う。今後会議の進め方も工夫していかなければいけないが、人数に関しては条例で30人となっているのであればそれでいいと思う。

B 委員

G委員の意見に賛成します。いろいろな立場や年齢層の方々が集まり意見を出し合うのが目的であって人数の問題ではない。仮に10人に減らしたから出席率が9割になるという事もないだろうし今までどおりでいいと思う。

H 委員

当初、地域自治区ということでその中で協議会が設置されたものと思う。自分たちが暮らす矢島地域をなんとかしようと参加を決意したが、時間がたつにつれ矢島だけではなく由利本荘市全体のこと考えなければいけないのではないかと思うようになった。条例において委員は市長が選任するとあるが、選考の段階でもっと年代層を広くしてもいいのではないかと思われる。地域の代表、団体の代表、学識経験だけでなく若い方々のいろいろな意見を取り込める地域協議会にしてほしい。そのために一部委員を募集するなど選考のあり方を見直し地域協議会の活性化を図ってほしい。人数に関してはやる気のある方が集まるのなら何人でもいいと思う。

I 委員

人数が多ければ意見はたくさん出ていいかもしれないが会議の中身が問題であり30人位でいいと思う。私は農業をやっておりますが例えば農業の青年団体等の先ほどH委員がおっしゃりたいとおり若い世代を取り込むべきだと思う。

鈴木会長

皆さんの意見を集約しますと、人数にはこだわらず選考に当たっては若い世代を取り込むべきとの事を会長会議で報告したいと思います。

A 委員

意見の集約後にこのようなことを言うと水を差すようですが、第8条に市長その他の市の機関の諮問に応えるとあり、いろいろな会とはまた違った責任ある会だと思う。第5条の3に基づきそれぞれ目的の応じての委員ですので、その立場で諮問に応えていかなければならないということを忘れてはいけないと思う。

鈴木会長

ほかに意見ありませんか。

事務局

矢島地域においては事前に幹事会を開催し次回の内容等を協議しておりますが、他の地域では部会を設置している地域もありますが、今後の運営体制についてもご意見いただきたいと思います。

鈴木会長

矢島地域協議会では7名で幹事会が構成されていて、次回の内容等を協議しているが先般の会長会議でその点についても話題になりました。他の地域からそのようなやり方も良いという意見もありましたが、今後について皆さんいかがでしょうか。

B 委員

部会設置もいいことだが、運営方針については新体制で話し合い決定すべきだと思う。

鈴木会長

よろしいですか。(意義なしの声あり)。それではその他ということで事務局からお願いします。

振興課長

広報号外ということで「定額給付金」と「子育て応援特別手当」について資料を配布しております。市では当初新年度に入ってから進めるとの事で新聞報道等もありましたが、次期を早め明日3月19日に対象者に文書を発送することになっております。早い方ですと来週早々にも申請あると思われるので体勢を整えるため準備しているところです。申請は原則郵送となっておりますが添付書類の関係で多くの方々が窓口申請来られることが想定されます。窓口は振興課となりますが福祉保健課の協力も得て対応するよう準備しております。定額給付金につきましては2月1日現在で住民基本台帳に記載されている方全員に給付する事になります。子育て応援特別手当につきましても基準日は同じく2月1日となっておりますが、対象は就学前の4歳、5歳、6歳であり矢島地域では55人が対象となります。

B 委員

仮に23日に申請したとすれば、支給はいつごろか。

事務局

定額給付金については3月23日から9月24日までの受付となります。第1回目の締め切りが3月末となっておりますので直近で4月10日頃を予定しております。振込口座の写しを添付する必要がありますので自宅にコピー機があれば書類がすぐにそろえる事ができ郵送での申請が可能でしょうが、そうでない方については直接窓口での申請となると思われますので混雑が予想されます。世帯主本人が申請に来られた場合は身分証明等を確認するだけになると思いますが、代理申請の場合世帯主との関係を記入する書類が必要となる事がありますので、配布された資料をご覧いただいて間違いのない申請をお願いしたいと思います。

鈴木会長

先般の幹事会でも話題となりましたが、6月30日で任期を終える事となりますがこの会での懇親会というのはあまり出来ませんでした。昨年のおばこ号でのビール列車と中高連携校視察後の忘年会ぐらいなものでしたが4年間の任期満了前に最後の最後になってはしまいましたがお別れ会を企画したいと思います。皆さんいかがでしょうか。(異議なしの声あり)。それでは幹事会で日程調整し後日ご案内いたしますのでよろしく申し上げます。そのほかありませんか。

G 委員

市へのお願いです。以前鳥海山観光推進計画の委員を1年間させていただいた。計画も策定されたようだが、計画の遂行に足踏みしているように思われる。長期的な取り組みとしているのかもしれないが毎シーズンの管理だけは徹底してほしい。祓川駐車場脇にキャンプ場があるが炊事場が柱の腐食により2年程前から使用禁止となっている。使えない施設があるところに観光客を呼び込もうとしているのはいかがなものか。県の所有かもしれないが一日も早く使えるように働きかけていただきたい。また、祓川ヒュッテ周辺での市職員の観光客に対する接客や対応について物足りなさを感じる。毎年いろいろな事故が起こっているが本人の責任ではあるのだがそれだけではなく何か事前に対策できることがあれば取り組んでいただきたい。それと紅葉シーズンの件で祓川周辺と法体の滝では紅葉の最盛期が約2週間違うのだが、遠方から滝を訪れた方のほとんどが祓川にも向かう。祓川ではシーズンが終わっているので戸は閉まっているし水道も出ないという状況なのである。観光客に気分よく帰っていただけるような何とか工夫していただきたい。今後、木境周辺が文化遺産登録されれば今まで以上に観光客が増える事が想定されるが今のままでは象潟口に差をつけられることだろう。合併後、鳥海山に対する力が弱まったように感じるが少しづつでも強力な体制を築けるようお願いしたい。

鈴木会長

ほかにございませんか。なければ20年度第5回目の協議会を終了したいと思います。4年間皆さんにはご迷惑をお掛けしてお詫びを申し上げながら閉会したいと思います。大変ご苦労様でした。

閉 会